株主のみなさまへ

第148期 報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

エンシュウ株式会社

Corporate Philosophy
経営理念

売ってよろこび、
買ってよろこび、
作ってよろこび、
一生懸命につとめ
共生共栄を旨とする

Contents
目　次

株主のみなさまへ	2
事業の概況	3
エンシュウのグローバルネットワーク	5
トピックス	6
連結事業別売上及び受注の状況	8
業績の推移	8
連結財務諸表	9
個別財務諸表	11
株式の状況	13
会社の概況	14

本社及び高塚工場

浜北工場

Top Message
株主のみなさまへ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当連結会計年度における我が国経済は、中国経済減速の影響を受ける中、原油安や政府の経済対策により景気は堅調に推移いたしましたが、1月以降の為替や株価の変動を受け、先行き不透明な状況となっております。一方で世界経済は、欧米は引き続き堅調に推移いたしましたが、中国経済の減速が鮮明となり、他の新興国においても景気に対する懸念が強まるなど、先行き不透明感が増加しております。

このような情勢の中、当社グループは中国をはじめとしたアジア諸国や欧米への拡販を図るとともに、生産効率化や原価低減などの推進に取り組んでまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、工作機械・レーザー関連事業部門及び輸送機器関連事業部門ともに減少したことにより26,454百万円（前期比11.6%減）となりました。損益につきましては、工作機械・レーザー関連事業部門及び輸送機器関連事業部門ともに採算が改善したことにより、営業利益は556百万円（前期は営業損失160百万円）、経常利益は176百万円（前期は経常損失411百万円）となりました。純利益は66百万円（前期は純損失582百万円）となりました。

当社グループといたしましては、安定した経営基盤の確立を目指して全社一丸となって取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

なお、148期の配当につきましては、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、財務状態が十分でなく無配とさせていただきたく存じます。

平成28年6月

代表取締役社長
土屋隆史

Review Of Operations
事業の概況

平成27年4月1日から平成28年3月31日に至る当社グループ第148期連結会計年度の事業の概況をご報告申し上げます。

工作機械・レーザー関連事業部門

当連結会計年度における日本工作機械工業会（日工会）の受注総額は1兆3,989億円（前期比11.4%減）、内需は5,792億円（前期比9.9%増）、外需は8,196億円（前期比22.1%減）となり、6年連続で1兆円は超えたものの、アジアを中心とした外需の落ち込みにより昨年度を下回る結果となりました。

工作機械・レーザー関連事業部門の売上高につきましては、中国向けを中心としたシステム大型案件は減少しましたが、中国の新規顧客開拓および欧州の拡販により減少分をカバーした結果、15,672百万円（前期比17.8%減）となりました。

営業利益につきましては、コストダウンに加え、システム商品においてプロジェクト毎の採算管理を徹底した結果、345百万円（前期比127.1%増）となりました。

短納期化により受注残高は減少しておりますが、国内および欧米からの引き合いは依然強く、今後も安定的な受注残高を維持できるものと見込んでおります。

また、国内販売網強化により汎用機・レーザーの拡販を更に推し進め、海外市場においてもインド・メキシコなどに新たに拠点を設置し販売・サービス体制を強化することにより、売上拡大を図ってまいります。

▲浜北工場

▲ ENSHU USA メキシコ駐在事務所

輸送機器関連事業部門

輸送機器関連事業部門につきましては、上期、主力製品であります大型二輪車用、雪上車用エンジン部品及び自動車関連部品の生産が減少する一方、前期より積極的に取り組んだ新規部品が下期の売上増加に寄与し、通期では若干の減少に留まり、連結売上高10,679百万円（前期比0.8％減）となりました。

営業利益につきましては、ベトナム現地法人の生産が軌道に乗り、また生産性向上活動などの原価低減施策を継続的に推進してきたことにより利益体質は強化され、単体・連結ともに黒字回復を果たし、連結営業利益128百万円（前期は営業損失369百万円）となりました。

今後につきましても、引き続き主力製品を中心に新規部品を積極的に取り込みながら、品質向上、原価低減活動に努めて、グローバルな価格競争の中で、仕事量の確保と利益の創出に努めてまいります。

さらには、ベトナム工場を活用した最適生産体制を構築していく中で、国内工場の生産ライン構成の再構築と各種施策活動を継続、推進し収益体質を改善させてまいります。

▲ENSHU VIETNAM 工場

▲ENSHU VIETNAM 工場　ピストン生産ライン

Glovel Net Work
エンシュウのグローバルネットワーク

工作機械の事業は、海外での製造・販売・サービス網を整備し、拡販しております。

Topics
トピックス

工作機械・レーザー関連事業部門

2015年11月26-27日の両日、エンシュウマシンフェアを開催し、2日間で550名を超える多くのお客様にご来場いただきました。新たに本社1階に開設したショールームでは当社製品を十分にご覧いただくことができ、本社組立工場、輸送機器工場をはじめ、浜北工場の見学にも多くのお客様にご参加いただき、盛況のうちに開催することができました。

▲エンシュウマシンフェア

▲EXPOMAQメキシコショー

国内におきましては、2016年4月 国際ウエルディングショー2016（4月13-16日）に、当社製ファイバーレーザーを搭載したレーザー加工機LBM10と開発中の半導体レーザーを出展しました。レーザー加工の分野においては、ファイバーレーザー、半導体レーザーとも順調に受注を伸ばすことが出来ています。

また、東北方面のお客様サービス充実のため、仙台に東北サービスステーションを開設し、業務を開始しました。5月には金沢で開催されるMEX金沢2016にも出展を予定しており、当社製品の紹介を積極的に展開してまいります。

海外においては、2015年7月、中国 蘇州に“ENSHU（QINGDAO）LIMITED Suzhou Branch”を開設しました。これまで無錫にあった駐在事務所を廃止し、ENSHU（QINGDAO）LIMITEDの支店として中国市場への営業、サービス拡大に努めてまいります。

更には2016年4月 メキシコ ケレタロ州に“ENSHU USA メキシコ駐在事務所”を開設し、メキシコで開催されたEXPOMAQメキシコショーにも出展しました。今後、インドにも現地法人を開設する予定です。両国とも主要取引先である日系自動車メーカーが事業拡大している市場であり、販売・サービス網を拡充し、最適提案によりお客様のニーズにお応えしてまいります。

輸送機器関連事業部門

輸送機器事業部門では、生産ラインを当社のマシニングセンタで構築し、永年培った加工技術の強みを活かした部品加工を行っております。

前期においては、主力製品の新規部品として、クランクケースの鋳造を、昨年12月から本年5月にかけて取り込み、素材から完成品までの一貫生産が可能となりました。また、小型船舶用ボディシリンダーの機械加工工程に加え、超精密研磨加工であるホーニング加工工程を昨年8月から取り込みました。

ベトナム工場におきましては、現在日本国内で生産している一部製品の移管を順次進めており、ベトナム工場を活用した最適生産体制の構築を進めております。今後さらにお客様にご満足いただける品質と価格を実現できるように努力してまいります。

▲小型船舶用ボディシリンダー　ホーニング加工工程

▲最適な生産体制を構築

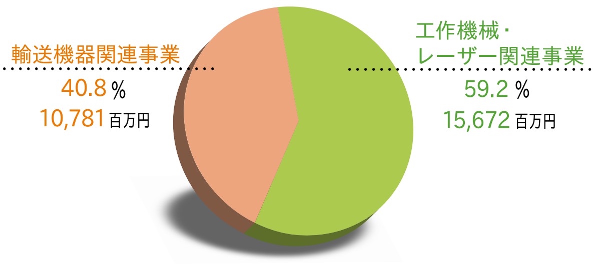
Report

連結事業別売上及び受注の状況

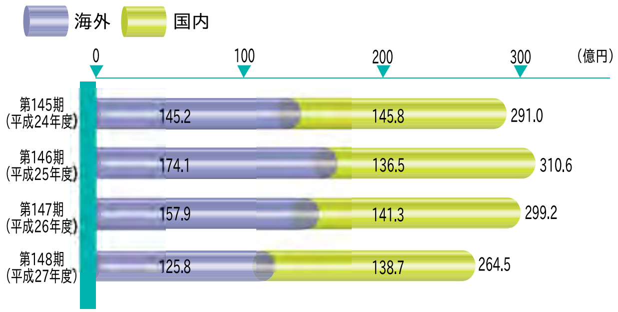
第145期～第148期 業績の推移

事業別売上高（平成27年度）

26,454百万円（うち海外 12,584 百万円）

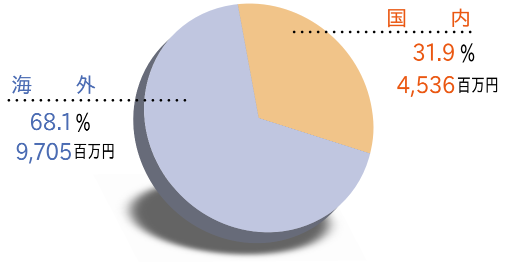


売上高

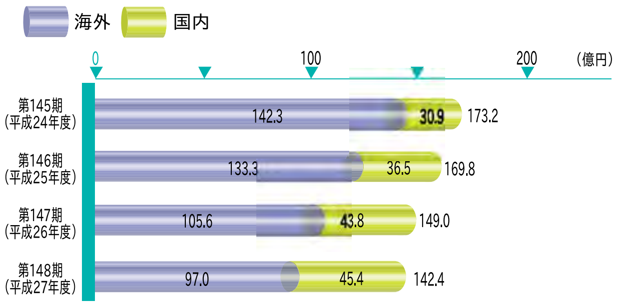


工作機械・レーザー関連事業の受注高（平成27年度）

14,241百万円

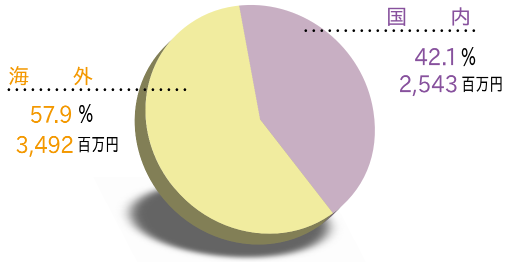


工作機械・レーザー関連事業の受注高

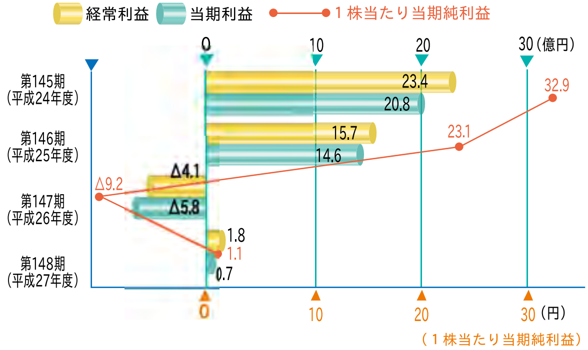


工作機械・レーザー関連事業の受注残高（平成28年3月）

6,035百万円



利　益



連結貸借対照表（平成28年3月31日現在）

（単位　百万円　百万円未満は切捨て）

項目	金額
●資産の部●	
流動資産	17,603
現金及び預金	3,285
受取手形及び売掛金	5,783
電子記録債権	1,536
商品及び製品	2,923
仕掛品	2,487
原材料及び貯蔵品	1,262
繰延税金資産	122
その他	260
貸倒引当金	△ 59
固定資産	15,349
有形固定資産	14,792
建物及び構築物	2,903
機械装置及び運搬具	4,010
土地	7,387
リース資産	35
建設仮勘定	197
その他	258
無形固定資産	206
のれん	15
リース資産	159
その他	32
投資その他の資産	350
投資有価証券	19
その他	361
貸倒引当金	△ 30
資産合計	32,952

項目	金額
●負債の部●	
流動負債	14,443
支払手形及び買掛金	4,233
短期借入金	7,759
リース債務	80
未払法人税等	66
賞与引当金	347
資産除去債務	69
その他	1,886
固定負債	11,274
長期借入金	5,484
リース債務	122
再評価に係る繰延税金負債	1,563
役員退職慰労引当金	15
退職給付に係る負債	3,825
資産除去債務	223
その他	38
負債合計	25,717
●純資産の部●	
株主資本	4,216
資本金	4,640
資本剰余金	1,230
利益剰余金	△ 1,587
自己株式	△ 66
その他の包括利益累計額	3,018
その他有価証券評価差額金	1
土地再評価差額金	3,666
為替換算調整勘定	619
退職給付に係る調整累計額	△ 1,268
純資産合計	7,234
負債及び純資産合計	32,952

連結損益計算書(要旨)

自 平成27年4月 1日
至 平成28年3月31日

（単位　百万円　百万円未満は切捨て）

項　　　目	金　額
売上高	26,454
売上原価	22,672
売上総利益	3,781
販売費及び一般管理費	3,224
営業利益	556
営業外収益	103
営業外費用	483
経常利益	176
特別利益	4
特別損失	11
税金等調整前当期純利益	170
法人税、住民税及び事業税	72
法人税等調整額	30
親会社株主に帰属する当期純利益	66

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

自 平成27年4月 1日
至 平成28年3月31日

（単位　百万円　百万円未満は切捨て）

項　　　目	金　額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,209
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,147
財務活動によるキャッシュ・フロー	△392
現金及び現金同等物に係る換算差額	△79
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△410
現金及び現金同等物の期首残高	3,427
現金及び現金同等物の期末残高	3,017

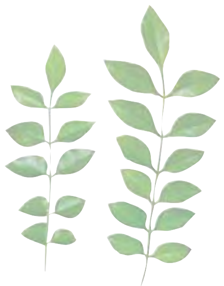
連結株主資本等変動計算書

自 平成27年4月 1日
至 平成28年3月31日

（単位　百万円　百万円未満は切捨て）

残高及び変動事由	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成27年4月1日残高	4,640	1,230	△1,654	△65	4,151
連結会計年度中の変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			66		66
自己株式の取得				△1	△1
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）					
連結会計年度中の変動額合計	−	−	66	△1	65
平成28年3月31日残高	4,640	1,230	△1,587	△66	4,216

残高及び変動事由	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
平成27年4月1日残高	2	3,582	541	△566	3,560	7,711
連結会計年度中の変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益						66
自己株式の取得						△1
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）	△1	83	78	△701	△541	△541
連結会計年度中の変動額合計	△1	83	78	△701	△541	△476
平成28年3月31日残高	1	3,666	619	△1,268	3,018	7,234



個別貸借対照表（平成28年3月31日現在）

（単位 百万円　百万円未満は切捨て）

項目	金額
●資産の部●	
流動資産	15,320
現金及び預金	2,522
受取手形	109
売掛金	5,661
電子記録債権	1,536
商品及び製品	816
仕掛品	2,354
原材料及び貯蔵品	900
関係会社短期貸付金	1,271
未収入金	12
前払金	7
前払費用	27
未収消費税等	60
その他	40
貸倒引当金	△ 1
固定資産	16,635
有形固定資産	12,497
建物	1,974
構築物	180
機械及び装置	2,640
車両運搬具	18
工具、器具及び備品	185
土地	7,387
リース資産	3
建設仮勘定	106
無形固定資産	191
ソフトウェア	30
リース資産	159
施設利用権	1
投資その他の資産	3,947
投資有価証券	16
関係会社株式	389
出資金	0
関係会社出資金	1,376
関係会社長期貸付金	2,088
従業員に対する長期貸付金	40
長期前払費用	16
その他	22
貸倒引当金	△ 2
資産合計	31,956

項目	金額
●負債の部●	
流動負債	13,964
支払手形	1,617
買掛金	2,454
短期借入金	7,759
リース債務	70
未払金	1,141
未払費用	93
未払法人税等	42
前受金	117
預り金	134
賞与引当金	347
設備関係支払手形	101
資産除去債務	69
その他	13
固定負債	9,991
長期借入金	5,484
リース債務	114
再評価に係る繰延税金負債	1,563
繰延税金負債	0
退職給付引当金	2,553
役員退職慰労引当金	15
資産除去債務	223
長期預り保証金	35
負債合計	23,955
●純資産の部●	
株主資本	4,333
資本金	4,640
資本剰余金	1,230
資本準備金	1,230
利益剰余金	△ 1,471
その他利益剰余金	△ 1,471
繰越利益剰余金	△ 1,471
自己株式	△ 66
評価・換算差額等	3,667
その他有価証券評価差額金	1
土地再評価差額金	3,666
純資産合計	8,000
負債及び純資産合計	31,956

個別損益計算書(要旨) 自 平成27年4月 1日 至 平成28年3月31日

(単位 百万円　百万円未満は切捨て)

項　目	金　額
売上高	23,644
売上原価	21,144
売上総利益	2,500
販売費及び一般管理費	2,216
営業利益	284
営業外収益	163
営業外費用	375
経常利益	71
特別利益	2
特別損失	8
税引前当期純利益	66
法人税、住民税及び事業税	19
当期純利益	47

個別株主資本等変動計算書 自 平成27年4月 1日 至 平成28年3月31日

(単位 百万円　百万円未満は切捨て)

残高及び変動事由	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
平成27年4月1日残高	4,640	1,230	1,230	△1,518	△1,518	△65	4,286
事業年度中の変動額							
当期純利益				47	47		47
自己株式の取得						△1	△1
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)							
事業年度中の変動額合計	―	―	―	47	47	△1	46
平成28年3月31日残高	4,640	1,230	1,230	△1,471	△1,471	△66	4,333

残高及び変動事由	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成27年4月1日残高	2	3,582	3,585	7,872
事業年度中の変動額				
当期純利益				47
自己株式の取得				△1
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	△1	83	82	82
事業年度中の変動額合計	△1	83	82	128
平成28年3月31日残高	1	3,666	3,667	8,000

1. 株式の総数・資本金

発行可能株式総数	150,000,000 株
1 単元の株式数	1,000 株
発行済株式の総数	63,534,546 株 （自己株式 449,631 株を含む）
資本金	4,640,850,000 円

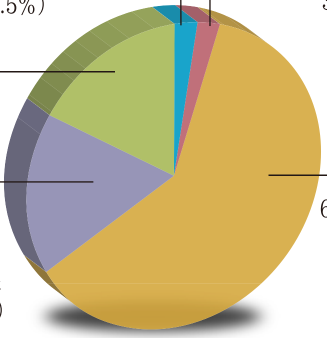
2. 大株主

ヤマハ発動機株式会社	6,457千株（10.23％）
エンシュウ取引先持株会	5,924千株（ 9.39％）
角田博	2,046千株（ 3.24％）
浜松ホトニクス株式会社	2,000千株（ 3.17％）
株式会社みずほ銀行	1,572千株（ 2.49％）
みずほ信託銀行株式会社	1,455千株（ 2.30％）
株式会社りそな銀行	1,414千株（ 2.24％）
エンシュウ従業員持株会	929千株（ 1.47％）
前尾和男	851千株（ 1.34％）
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	846千株（ 1.34％）

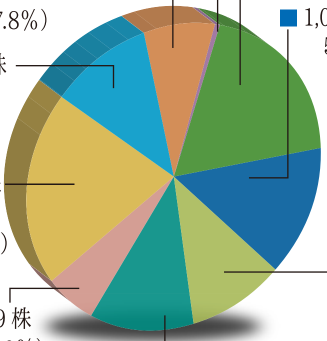
（注）比率は発行済株式総数から自己株式を控除して計算しております。

3. 株主の構成

所有者別株式分布状況　合計：6,462 名／63,534 千株



所有株数別分布状況　合計：6,462 名／63,534 千株



（注）株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

商号	エンシュウ株式会社（英文 ENSHU Limited）
設立	大正９年２月５日
資本金	46億4,085万円
発行済株式総数	63,534,546株
株主数	6,462名
従業員数	987名（連結）
生産品目	工作機械、輸送機器関連部品 レーザー加工機

事業所

本社及び工場　〒432-8522　静岡県浜松市南区高塚町4888　電話 053-447-2111(代)

浜北工場　〒434-0016　静岡県浜松市浜北区根堅788　電話 053-588-0211(代)

営業部・支店

営業部	〒434-0016	静岡県浜松市浜北区根堅788	電話 053-588-4771(代)
東京支店	〒140-0011	東京都品川区東大井4-13-15（スターハイツ）	電話 03-5479-1671(代)
大阪支店	〒564-0063	大阪府吹田市江坂町1-23-43（ファサード江坂ビル）	電話 06-6338-2471(代)

サービスステーション　／東北・金沢・広島・九州

海外拠点

ENSHU (USA) CORPORATION	（アメリカ・シカゴ）
ENSHU USA CORPORATION MEXICO R.O.W.I	（メキシコ・ケレタロ）
ENSHU GmbH	（ドイツ・フランクフルト郊外）
ENSHU (Thailand) Limited	（タイ・バンコク）
BANGKOK ENSHU MACHINERY Co.,Ltd.	（タイ・バンコク）
PT.ENSHU INDONESIA	（インドネシア・ジャカルタ）
ENSHU (QINGDAO) LIMITED	（中国・青島）
ENSHU (QINGDAO) MACHINERY CO.,LTD.	（中国・青島）
ENSHU(QINGDAO) Limited Suzhou branch Office	（中国・蘇州）
ENSHU VIETNAM Co.,Ltd.	（ベトナム・ハノイ）

取締役体制

（平成28年6月29日現在）

代表取締役社長	土屋 隆史
代表取締役	山下 晴央
取締役	勝倉 宏和
社外取締役	岡部 比呂男
取締役（常勤監査等委員）	中村 泰之
社外取締役（監査等委員）	石塚 尚
社外取締役（監査等委員）	嶋津 忠彦

執行役員体制

（平成28年6月29日現在）

社長執行役員	土屋 隆史
副社長執行役員	山下 晴央
常務執行役員（管理本部長）	勝倉 宏和
上席執行役員（工作機械・レーザー事業部長）	鈴木 敦士
上席執行役員（工作機械・レーザー事業部副事業部長）	富田 敏弘
上席執行役員（輸送機器事業部長）	勝井 真
執行役員（工作機械・レーザー事業部企画開発部長）	鈴木 利夫

株主メモ

事　業　年　度　　毎年4月1日～翌年3月31日

剰余金の配当の基準日
　（期末配当）　3月31日
　（中間配当）　9月30日

定 時 株 主 総 会　　毎年6月下旬

なお、定時株主総会において権利を行使することができる株主は、毎年3月31日最終の株主名簿に記録された議決権を有する株主となります。

単 元 株 式 数　　1,000株

株 主 名 簿 管 理 人　　東京都中央区八重洲1丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

事 務 取 扱 場 所　　みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部

公　告　方　法　　電子公告　（http://www.enshu.co.jp/koukoku/）
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株 式 の 上 場　　東京証券取引所市場第一部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507　東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 （土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
各種手続お取扱店 （住所変更、株主配当金受取り方法の変更等）		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗）でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 （みずほ証券では取次のみとなります）	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。

単元未満株式（1～999株）を保有されている株主のみなさまへ

単元未満株式は
市場における自由な売買ができません。

単元未満株式（1株から999株）を保有されている株主のみなさまからの、単元未満株式の買取請求をお受けしております。手数料はかかりません。

当社株主名簿管理人・特別口座管理機関
みずほ信託銀行株式会社　証券代行部に
お問合せください。
0120-288-324（フリーダイヤル）

【ご注意】
証券会社等の一般口座で保有する単元未満株式については、お取引きの証券会社等を通じてお手続きをしていただくようになりますので、株主様のお取引きの証券会社等にお問合せください。

ホームページのご案内

当社はインターネット上で最新の情報を皆様に提供しております。
ホームページアドレス　http://www.enshu.co.jp

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

エンシュウ株式会社